

第4次宮崎市病院事業経営計画の点検・評価  
(令和3年度実績)

令和5年3月

## 1 はじめに

宮崎市では、国から示されたガイドラインに基づき、令和3年3月に「第4次宮崎市病院事業経営計画」を策定しました。

また、本計画の実施状況等については、概ね年1回以上の点検・評価を行い、有識者等で組織される会議等において評価の客観性を確保することとしております。

点検・評価の結果については、本市ホームページへの掲載等により公表します。

## 2 評価方法

目標に対する評価を以下の区分で行いました。

区 分	評価の内容
○	取組を評価する
△	分析事項を踏まえ概ね評価する
×	取組を評価しない

## 3 点検・評価

令和3年度の点検・評価は、「経営に係る数値目標」及び「医療機能に係る数値目標」について行いました。

次頁 第4次宮崎市病院事業経営計画点検・評価表【資料1】

第4次宮崎市病院事業経営計画 点検・評価表

計画名	第4次宮崎市病院事業経営計画	計画期間	R3年度	～	R7年度
-----	----------------	------	------	---	------

(1) 計画の概要

課題・背景	<p>本市では、平成29年3月に既存事業やサービスについても従来どおり継続したうえで収支改善を図ることを目的とし、平成28年度から令和2年度までの5年間の計画期間とした第3次宮崎市病院事業経営計画を策定し、同計画に定めた目標等を達成するため、各種取り組みを進めてきた。</p> <p>しかしながら、病院事業の附帯事業である介護老人保健施設事業を継続した場合、今後、より厳しい経営状況となることを見込まれるため、国の方針も踏まえ、病院事業を今後とも安定的に継続して運営するという原点に立ち返り、その実現に向けた経営改善の方向性を定め、地域で必要とされている医療を今後も確保していくことを目的として本計画を策定している。</p>
基本方針	<p>田野病院が果たすべき役割（救急医療、回復期医療、専門医療、在宅医療及び総合診療の提供）を担った上で、安定的かつ継続的な病院経営を目指す。</p>

(2) 収支計画

病院事業収益			病院事業費用		
	計画値	実績値		計画値	実績値
経常収益(A)	830	896	経常費用(B)	754	752
医業収益	676	723	医業費用	721	720
うち入院収益	438	477	医業外費用	33	32
うち外来収益	179	189	経常収支(A-B)	76	144
医業外収益	154	173			

(3) 総括【結果と分析】

<p><b>■経営に係る数値目標について</b></p> <p>令和3年度における病院事業（老健事業を除く）の経営成績は、入院収益を始めとする医業収益の増加により、1億4,434万3,733円の経常利益を計上した。</p> <p>また、安定的かつ継続的な病院経営を行うために設定した経営指標に係る数値目標については、5項目において目標を達成し、新入院患者数及び年延外来患者数の2項目については未達となった。この要因については、新型コロナウイルス感染症（第5波）時の診療制限によるものであるが、全体としては、入院収益及び外来収益ともに計画値を上回ったことから、医業収支比率は、100.5%となり、経営の健全性を示す経常収支比率は、119.2%となった。</p>	<p><b>■医療機能に係る数値目標について</b></p> <p>本院の役割を果たすために設定した医療機能に係る数値目標については、すべての項目において目標を達成した。このうち、在宅医療の提供に係る項目となる在宅医療実患者数については、令和3年度の目標は達成しているものの、これまで連携していた施設がグループ内の病院へ連携先を変更した影響が生じている。このため、今後、新規患者の獲得に加え、既に連携を図っている施設と更なる連携強化に努める。</p>
---	---

経営に係る数値目標		評価凡例【○：取組を評価する △：分析事項を踏まえ概ね評価する ×：取組を評価しない】			
目標	指標	指標説明	自己評価	外部評価	
1 経常収支比率	%	<p>実績値 119.2 目標値 110.0 104.2 102.9 102.6 102.8</p>	<p><b>経常収益/経常費用×100</b></p> <p>経常収支比率は、医業費用及び医業外費用に対する医業収益及び医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を表す指標で、100%以上の場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を表す。</p>	○	○
		<p>令和3年度の目標値 110.0%に対し、実績は 119.2%となり、目標値を 9.2ポイント上回った。</p>	○	○	
2 医業収支比率	%	<p>実績値 100.5 目標値 93.7 90.8 90.2 89.4 89.3</p>	<p><b>医業収益/医業費用×100</b></p> <p>医業収支比率は、医業費用に対する医業収益の割合を表し、本来の医業活動による収益状況を表す指標で、100%以上の場合は医業活動自体で利益が発生していることを表す。</p>	○	○
		<p>令和3年度の目標値 93.7%に対し、実績は 100.5%となり、目標値を 6.8ポイント上回った。</p>	○	○	

3	年延入院患者数	人	<p>実績値 13,447 目標値 12,288 12,288 12,322 12,288 12,288</p>	<p>指標説明 年延入院患者数は、病院の利用状況を把握するための指標で、当日末在院患者数（24時現在入院している患者数）に当日の退院患者数を加えた延べ人数で表す。</p>	自己評価	自己分析等	外部評価																										
			<p>R3実績 令和3年度の目標値 12,288人に対し、実績は 13,447人となり、目標値を 1,159人上回った。</p>	○	<p>目標達成に至った事由については、急性期機能の役割を担う医療機関等からの転院患者数の増加による。</p> <p>【参考】急性期病院等からの転院患者数（年延入院患者数換算） R2：3,395人 R3：4,350人（+955人）</p>	○																											
	病床利用率	%	<p>実績値 87.7 目標値 80.2 80.2 80.2 80.2 80.2</p>	<p>指標説明 病床利用率は、病院の病床数に対して、どの程度の利用が行われたかを示す指標で、本指標の値が高いほど病床機能が有効に活用されていることとなり、収益増加に寄与することとなる。</p>	○	<p>目標達成に至った事由については、年延入院患者数の分析と同一の事由による。</p>	○																										
			<p>R3実績 令和3年度の目標値 80.2%に対し、実績は 87.7%となり、目標値を 7.5ポイント上回った。</p> <p>【参考】R3年度病床使用率 13,447人/15,330床(42床×365日)</p>	○		○																											
	5	新入院患者数	人	<p>実績値 501 目標値 650 650 650 650 650</p>	<p>指標説明 新入院患者数は、新規に入院した患者（再入院患者を含む）数を示す数値で、入院関連の指標となる。一般的に回復期医療を提供している病院は、急性期医療を提供している病院に比べ平均在院日数が長くなるため当該数値は低くなる。</p>	△	<p>市の独自措置として、第5波ピーク時において臨時的に新型コロナウイルス感染症に罹患した患者を受け入れた際、新規入院患者の受け入れ制限を行ったことなどが影響し、未達となったものの、急性期機能の役割を担う医療機関等からの転院患者を積極的に受け入れたことに伴い年延入院患者数や入院収益は計画値を上回った。</p>	△																									
<p>R3実績 令和3年度の目標値 650人に対し、実績は 501人となり、目標値を 149人下回った。</p>				△	<p>【参考】病床使用率 9月：70.8%（受入時） 年平均：87.7%</p>																												
6	年延外来患者数	人	<p>実績値 23,870 目標値 24,101 24,144 24,187 24,229 24,272</p>	<p>指標説明 年延外来患者数は、新来、再来、往診及び訪問診療患者の合計数で、病院の利用状況を把握するための指標となる。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴う訪問診療及び往診の減少により未達となったものの、積極的に新型コロナウイルス感染症を疑う患者のPCR検査等を実施したことに伴い外来収益は計画値を上回った。</p>	△																										
			<p>R3実績 令和3年度の目標値 24,101人に対し、実績は 23,870人となり、目標値を 231人下回った。</p>	△	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年延外来患者数</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内外来</td> <td>23,545</td> <td>23,119</td> <td>22,916</td> <td>23,384</td> </tr> <tr> <td>訪問診療</td> <td>725</td> <td>647</td> <td>483</td> <td>461</td> </tr> <tr> <td>自宅施設</td> <td>159</td> <td>127</td> <td>115</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>往診</td> <td>68</td> <td>53</td> <td>31</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24,338</td> <td>23,819</td> <td>23,430</td> <td>23,870</td> </tr> </tbody> </table>	年延外来患者数	H30	R1	R2	R3	院内外来	23,545	23,119	22,916	23,384	訪問診療	725	647	483	461	自宅施設	159	127	115	166	往診	68	53	31	25	計	24,338	23,819
年延外来患者数	H30	R1	R2	R3																													
院内外来	23,545	23,119	22,916	23,384																													
訪問診療	725	647	483	461																													
自宅施設	159	127	115	166																													
往診	68	53	31	25																													
計	24,338	23,819	23,430	23,870																													
7	材料費比率	%	<p>実績値 13.1 目標値 13.1 15.0 15.0 15.0 15.0</p>	<p>指標説明 材料費比率は、医業収益の中で材料費が占める割合を示す指標で、薬品費等を含む材料費は医業費用の中でも高い割合を占める費用であるため、類似病院平均より上回っている場合には、その原因について分析し、改善へ向けた検討をする必要がある。</p>	○	<p>目標達成に至った事由については、自己注射薬を院外処方へ切り替えたことやバイオシミラーへの切り替えなど薬品費の削減による。</p>	○																										
			<p>R3実績 令和3年度の目標値 13.1%に対し、実績は 13.1%となり、目標値を達成した。</p> <p>【参考】類似病院(50床未満)平均値：14.9% 出典：総務省 経営比較分析表（令和3年度決算値）</p>	○		○																											

			指標説明	自己評価	自己分析等	外部評価	
8	在宅復帰率	%	<p>実績値 82.1 目標値 80.0 80.0 80.0 80.0 80.0</p>	<p>退院患者数（自宅又は施設への退院）/新入院患者数×100</p> <p>在宅復帰率は、期間中の入院患者の退院先が自宅等に退院した割合を示す指標で、田野病院は入院治療後、病状が安定した患者に対して、リハビリ等を提供する地域包括ケア病床（在宅復帰支援のための病床）を有している。</p> <p>令和3年度の目標値 80.0%に対し、実績は 82.1%となり、目標値を 2.1ポイント上回った。</p> <p>【参考】地域包括ケア病床の実績要件 R3年度：70%以上</p>	○	<p>目標達成に至った事由については、各患者に応じた無理のないリハビリ計画の作成に加え、入院当初から計画的な退院支援（退院後のケア説明等）を行ったことによる。</p>	○
9	リハビリ件数	件	<p>実績値 10,921 目標値 9,000 9,000 9,000 9,000 9,000</p>	<p>リハビリ件数は、入院リハビリテーション及び外来リハビリテーションの合計件数で、田野病院は第4次宮崎市病院事業経営計画において、果たすべき役割とし、回復期医療の提供等を掲げている。</p> <p>令和3年度の目標値 9,000件に対し、実績は 10,921件となり、目標値を 1,921件上回った。</p>	○	<p>目標達成に至った事由については、患者がリハビリを断念することなく継続的かつ精力的に取り組めるよう積極的にコミュニケーションを図り、各患者に応じた無理のないリハビリ計画を作成したことによる。</p>	○
10	在宅医療実患者数	人	<p>実績値 62 目標値 60 70 70 70 70</p>	<p>在宅医療実患者数は、在宅療養支援を行う実患者数で、田野病院は在宅療養支援病院であるため、第4次宮崎市病院事業経営計画において、果たすべき役割とし、在宅医療の提供を掲げている。</p> <p>令和3年度の目標値 60人に対し、実績は 62人となり、目標値を 2人上回った。</p> <p>【参考】 これまで連携していた施設がグループ内の病院へ連携先を変更した影響に伴い、令和3年度の目標値は減少している。</p>	○	<p>目標達成に至った事由については、新たな連携先を増やせたことで新規患者の獲得に繋がったことによる。</p> <p>【連携した施設数】 R2：74施設 R3：79施設（+5施設）</p>	○
11	在宅看取患者数	人	<p>実績値 7 目標値 4 4 4 4 4</p>	<p>在宅看取患者数は、患者が住み慣れた自宅で自然に死を迎えられるよう支援を行う実患者数で、田野病院は在宅療養支援病院であるため、第4次宮崎市病院事業経営計画において、果たすべき役割とし、在宅医療の提供を掲げている。</p> <p>令和3年度の目標値 4人に対し、実績は 7人となり、目標値を 3人上回った。</p> <p>【参考】在宅療養支援病院の要件 R3年度：4名以上</p>	○	<p>目標達成に至った事由については、患者だけでなく、患者の家族との対話を重ねることで、患者が安心できる終末期の医療体制を確保できたことによる。</p>	○
12	手術件数	件	<p>実績値 57 目標値 50 50 50 50 50</p>	<p>手術件数は、専門医療の提供として田野病院の果たすべき役割に掲げている。</p> <p>令和3年度の目標値 50件に対し、実績は 57件となり、目標値を 7件上回った。</p>	○	<p>目標達成に至った事由については、宮崎大学医学部附属病院との連携により安定的に麻酔科医を確保できたことによる。</p> <p>なお、田野病院においては、人工股関節置換術や人工膝関節置換術等を実施している。</p>	○

#### 4 第4次宮崎市病院事業経営計画検証会議体委員からのご意見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い入院患者の受入制限等を実施したなかで、医業収益が目標を達成したことは評価できる。
- ・新型コロナウイルスの対応において、入院患者の受入が制限されたと思われるが、今後、5類引き下げに向かって入院制限を行わずに対応できる医療体制を考える必要がある。
- ・未達成の目標（新入院患者数及び年延外来患者数）については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響と慮慮されることから、次年度以降の達成を期待したい。
- ・新規入院患者数の未達要因は、新型コロナウイルス感染症に伴う新患受入制限が主因でやむを得ない。
- ・手術件数が増えていることに安心した。